

【オリコンサルが新たな交通安全対策を実証 速度抑制効果を確認】

### 速度抑制効果を確認 オリコンサルが新たな 交通安全対策を実証 オリエンタルコンサルタン

ツは、佐賀県江北町と連携・協働し、AI（人工知能）カメラとLED電光掲示板を連動させた新たな交通安全対策を実証実験した結果、規制速度超過車両の割合が減少するなど、その効果を確認した。実験は、最高速度を時速30kmに規制した「ゾーン30プラス」の登録を目指している江北小学校前に、仮設のスムーズ横断歩道を設置。その上で、生活道路を走行する車両の速度をAIカメラで判別し、速度超過車両に対して路側に設けたLED電光掲示板で警告サインを表示した。

対策なしと仮設スムーズ横断歩道の設置期間、これに電光掲示板を設置した期間を比較した結果、規制速度を超過する車両は対策なしが38・4%だったのに対して、横断歩道のみは31・2%、電光掲示板を加えると24・8%となり、速度抑制効果が確認できた。アンケートの結果でも警告サインが表示された場合、94%のドライバーが「速度を落とそうと思う」と回答しており、安全運転意識が向上する効果も認められた。

これらの結果を踏まえ、同社は今後の実用化に向け、さらに速度抑制効果を高めるための継続的な技術開発と実証実験に取り組む考えだ。

実験は、最高速度を時速30kmに規制した「ゾーン30プラス」の登録を目指している江北小学校前に、仮設のスムーズ横断歩道を設置。その上で、生活道路を走行する車両の速度をAIカメラで判別し、速度超過車両に対して路側に設けたLED電光掲示板で警告サインを表示した。

